

● 就学援助率:相関係数

- ◆就学援助率: 経済的に就学が困難な世帯
- ◆学力テスト: 国語(小5)、英語(中2)
- ◆両者に関係があるか? 格差社会? 相関は?
- ◆東京都の調査: 23区の例: -0.89?, -0.79?
- ◆シミュレーション: 23群のデータ
 - ◆成績の平均値は群により0.23から0.01まで-0.1刻み、分散は共通で1.0の正規分布を仮定、各群で1000サンプルを発生
 - ◆結果: 23000サンプルの相関: -0.058
 - 23区の平均値の相関: -0.88 ← 極端な差

14

東京23区別就学援助率

就学援助率

	小学校	中学校
A区	6.56%	7.02%
B区	13.70%	16.65%
C区	23.11%	33.70%
D区	21.14%	27.01%
E区	14.32%	18.22%
F区	21.43%	24.94%
G区	35.14%	38.94%
H区	31.66%	35.89%
I区	28.04%	29.98%
J区	11.39%	15.87%
K区	28.94%	29.26%
L区	14.19%	18.43%
M区	23.29%	28.35%
N区	23.52%	27.18%
O区	21.24%	23.66%
P区	19.57%	26.37%
Q区	29.72%	32.96%
R区	32.03%	38.68%
S区	35.55%	37.94%
T区	25.55%	28.35%
U区	42.81%	43.83%
V区	29.80%	34.27%
W区	32.83%	34.59%
23区平均	27.59%	31.09%

15

東京23区別就学援助率

	小学校	中学校
A区	6.56%	7.02%
B区	13.70%	16.65%
C区	23.11%	33.70%
D区	21.14%	27.01%
E区	14.32%	18.22%
F区	21.43%	24.94%
G区	35.14%	38.94%
H区	31.66%	35.89%
I区	28.04%	29.98%
J区	11.39%	15.87%
K区	28.94%	29.26%
L区	14.19%	18.43%
M区	23.29%	28.35%
N区	23.52%	27.18%
O区	21.24%	23.66%
P区	19.57%	26.37%
Q区	29.72%	32.96%
R区	32.03%	38.68%
S区	35.55%	37.94%
T区	25.55%	28.35%
U区	42.81%	43.83%
V区	29.80%	34.27%
W区	32.83%	34.59%
23区平均	27.59%	31.09%

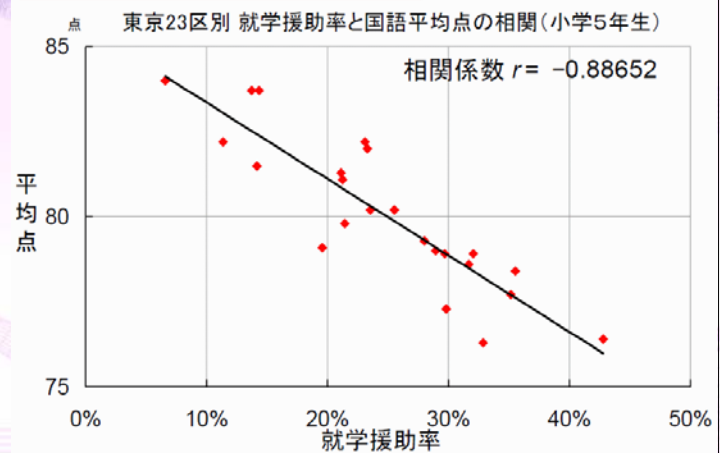
J区	11.39%	15.87%
K区	28.94%	29.26%
L区	14.19%	18.43%
M区	23.29%	28.35%
N区	23.52%	27.18%
O区	21.24%	23.66%
P区	19.57%	26.37%
Q区	29.72%	32.96%
R区	32.03%	38.68%
S区	35.55%	37.94%
T区	25.55%	28.35%
U区	42.81%	43.83%
V区	29.80%	34.27%
W区	32.83%	34.59%
23区平均	27.59%	31.09%

● 就学援助率:相関係数

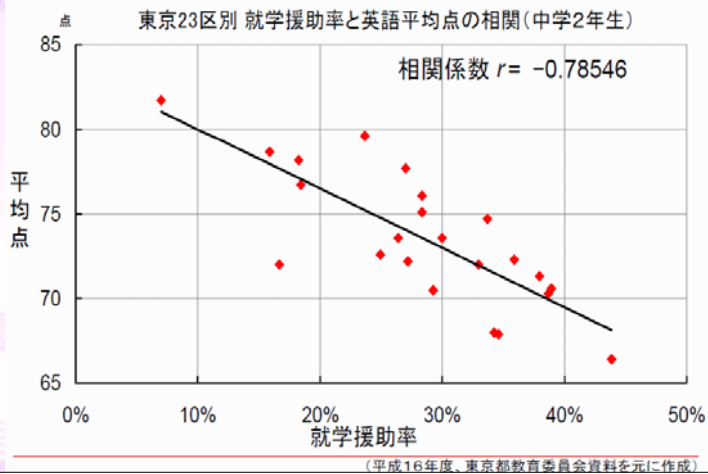
- ◆就学援助率: 経済的に就学が困難な世帯
- ◆学力テスト: 国語(小5)、英語(中2)
- ◆両者に関係があるか? 格差社会? 相関は?
- ◆東京都の調査: 23区の例: -0.89?, -0.79?
- ◆シミュレーション: 23群のデータ
 - ◆成績の平均値は群により0.23から0.01まで-0.1刻み、分散は共通で1.0の正規分布を仮定、各群で1000サンプルを発生
 - ◆結果: 23000サンプルの相関: -0.058
 - 23区の平均値の相関: -0.88 ← 極端な差

18

就学援助率と学力の関係



就学援助率と学力の関係

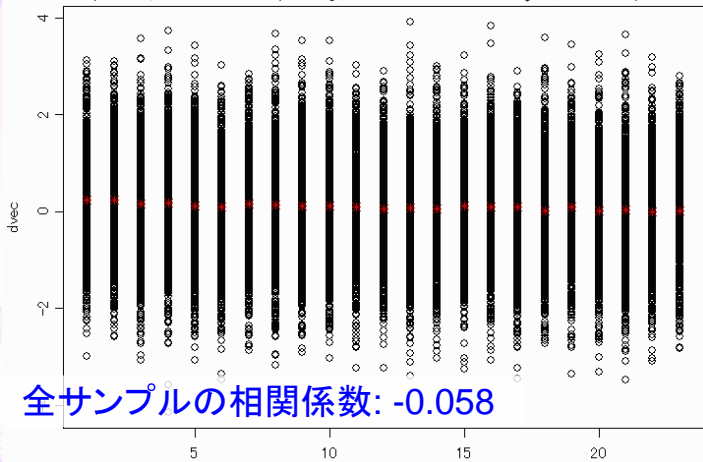


● 就学援助率:相関係数

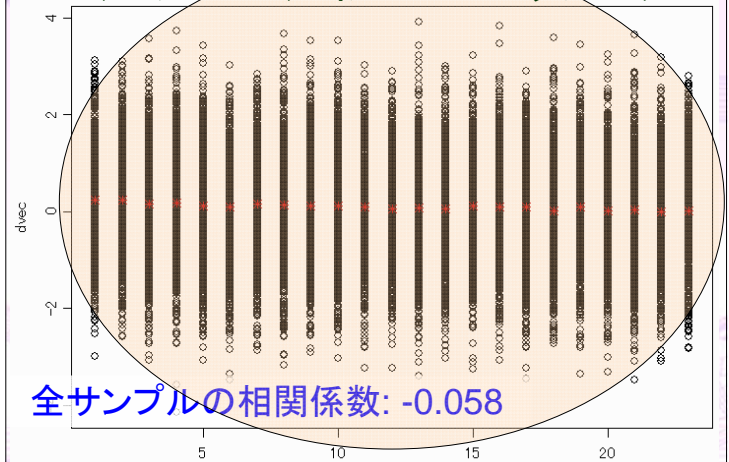
- ◆ 就学援助率: 経済的に就学が困難な世帯
- ◆ 学力テスト: 国語(小5)、英語(中2)
- ◆ 両者に関係があるか? 格差社会? 相関は?
- ◆ 東京都の調査: 23区の例: -0.89?, -0.79?
- ◆ シミュレーション: 23群のデータ
 - ◆ 成績の平均値は群により0.23から0.01まで-0.1刻み、分散は共通で1.0の正規分布を仮定、各群で1000サンプルを発生
 - ◆ 結果: 23000サンプルの相関: -0.058
 - ◆ 23区の平均値の相関: -0.88 ← 極端な差

21

シミュレーション: 23000サンプル

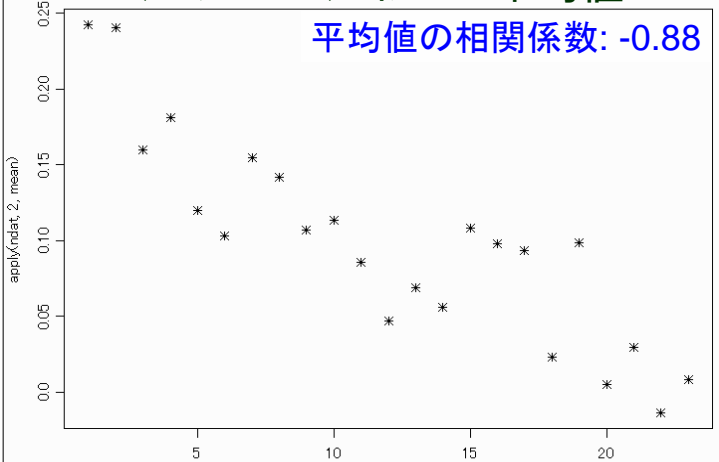


シミュレーション: 23000サンプル



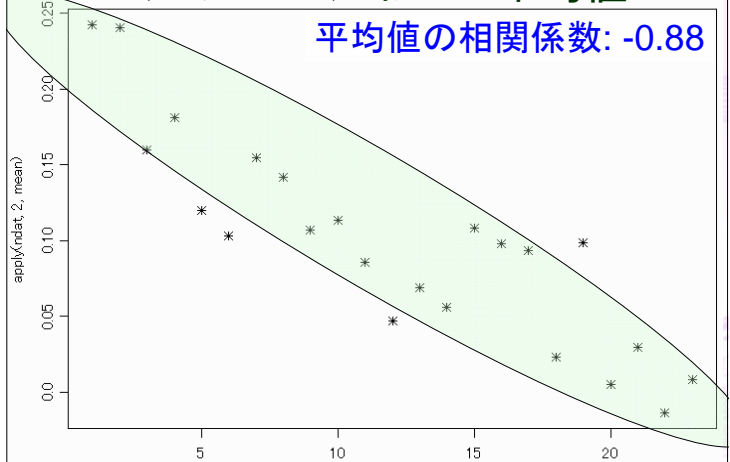
シミュレーション: 23平均値

平均値の相関係数: -0.88



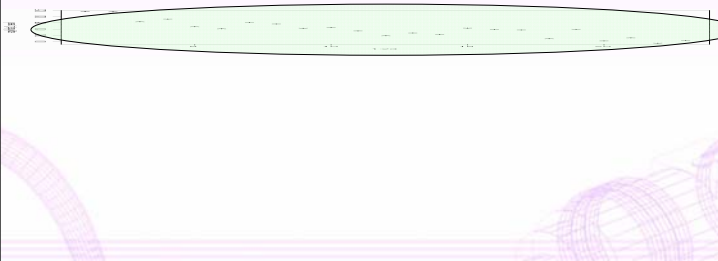
シミュレーション: 23平均値

平均値の相関係数: -0.88



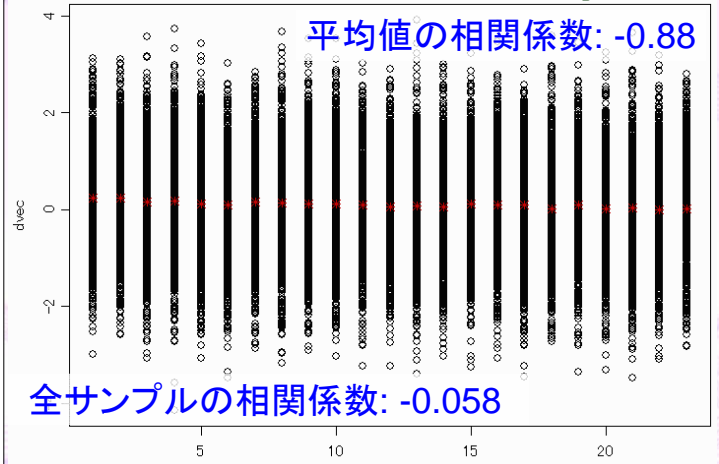
シミュレーション: 23平均値

平均値の相関係数: -0.88



シミュレーション: 23000対23

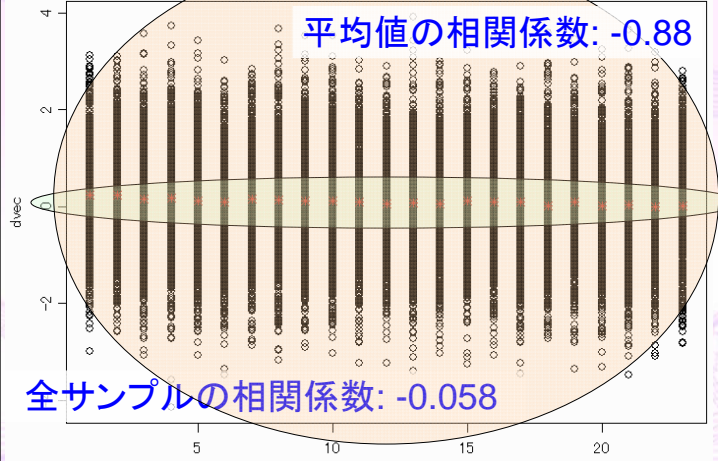
平均値の相関係数: -0.88



全サンプルの相関係数: -0.058

シミュレーション: 23000対23

平均値の相関係数: -0.88



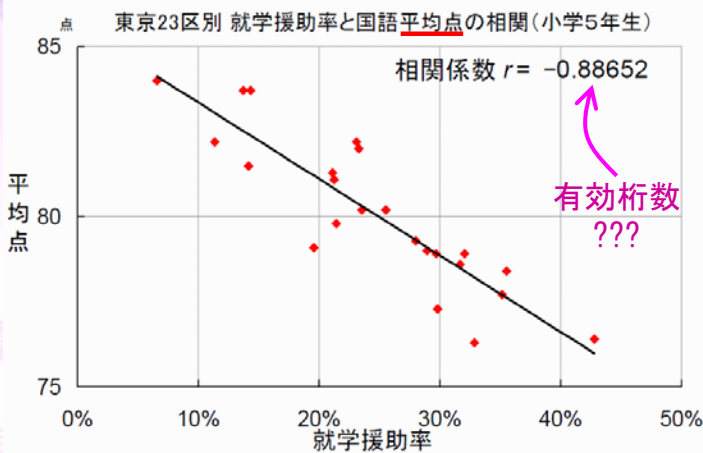
全サンプルの相関係数: -0.058

● 就学援助率: 相関係数

- ◆ 就学援助率: 経済的に就学が困難な世帯
- ◆ 学力テスト: 国語(小5)、英語(中2)
- ◆ 両者に関係があるか? 格差社会? 相関は?
- ◆ 東京都の調査: 23区の例: -0.89?, -0.79?
- ◆ シミュレーション: 23群のデータ
 - ◆ 成績の平均値は群により0.23から0.01まで-0.1刻み、分散は共通で1.0の正規分布を仮定、各群で1000サンプルを発生
 - ◆ 結果: 23000サンプルの相関: -0.058
 - ◆ 23区の平均値の相関: -0.88

極端な差

就学援助率と学力の関係



(平成16年度、東京都教育委員会資料を元に作成)

● 就学援助率: 相関係数

- ◆ 就学援助率: 経済的に就学が困難な世帯
- ◆ 学力テスト: 国語(小5)、英語(中2)
- ◆ 両者に関係があるか? 格差社会? 相関は?
- ◆ 東京都の調査: 23区の例: -0.89?, -0.79?
- ◆ シミュレーション: 23群のデータ
 - ◆ 成績の平均値は群により0.23から0.01まで-0.1刻み、分散は共通で1.0の正規分布を仮定、各群で1000サンプルを発生
 - ◆ 結果: 23000サンプルの相関: -0.058
 - ◆ 23区の平均値の相関: -0.88

これでは言えなさそう

極端な差

'07学力調査 (就学援助率)

- ◆ 平成19年度全国学力・学習状況調査 調査結果について
- ◆ <http://www.nier.go.jp/tyousakekka/tyousakekka.htm>
- ◆ 4月下旬実施
- ◆ 小6, 中3
- ◆ 国語、算数・数学
- ◆ 120万人(悉皆調査)x2学年
- ◆ (77億円)
- ◆ **箱髭図の活用**
- ◆ 「ばらつき」の概念

朝日新聞 2007年10月25日

生活習慣も影響

**朝食食べる子、高得点
ゲーム好きは低い傾向**

「朝食を食べる子は、学力が高い傾向がある」という調査結果が、文部科学省が発表した「平成19年度全国学力・学習状況調査」の結果から明らかになった。朝食を食べる子は、国語や算数・数学の得点が高い傾向がある。一方、ゲームが好きという子は、学力が低い傾向があるという結果も出てきた。

調査結果によると、朝食を食べる子は、国語の得点が平均で約10点高い傾向がある。算数・数学の得点も約5点高い傾向がある。一方、ゲームが好きという子は、国語の得点が平均で約5点低い傾向がある。算数・数学の得点も約3点低い傾向があるという結果が出た。

この調査結果は、朝食の摂取と学力の関係を明らかにする上で重要な手がかりとなる。朝食の摂取は、脳の働きを活性化させる効果があると考えられている。一方、ゲームの長時間のプレイは、集中力を削ぐ可能性がある。これらの結果は、学校や家庭で適切な生活習慣を身につけることの重要性を示している。

'07学力調査 生活習慣も影響

- ◆ 平成19年度全国学力・学習状況調査 調査結果について
- ◆ <http://www.nier.go.jp/tyousakekka/tyousakekka.htm>
- ◆ 4月下旬実施
- ◆ 小6, 中3
- ◆ 国語、算数・数学
- ◆ 120万人(悉皆調査)
- ◆ (77億円)
- ◆ **箱髭図の活用**
- ◆ 「ばらつき」の概念

朝日新聞 2007年10月25日

朝食食べる子、高得点 ゲーム好きは低い傾向

「朝食を食べる子は、学力が高い傾向がある」という調査結果が、文部科学省が発表した「平成19年度全国学力・学習状況調査」の結果から明らかになった。朝食を食べる子は、国語や算数・数学の得点が高い傾向がある。一方、ゲームが好きという子は、学力が低い傾向があるという結果も出てきた。

調査結果によると、朝食を食べる子は、国語の得点が平均で約10点高い傾向がある。算数・数学の得点も約5点高い傾向がある。一方、ゲームが好きという子は、国語の得点が平均で約5点低い傾向がある。算数・数学の得点も約3点低い傾向があるという結果が出た。

この調査結果は、朝食の摂取と学力の関係を明らかにする上で重要な手がかりとなる。朝食の摂取は、脳の働きを活性化させる効果があると考えられている。一方、ゲームの長時間のプレイは、集中力を削ぐ可能性がある。これらの結果は、学校や家庭で適切な生活習慣を身につけることの重要性を示している。

'07学力調査 生活習慣も影響

- ◆ 平成19年度全国学力・学習状況調査 調査結果について
- ◆ <http://www.nier.go.jp/tyousakekka/tyousakekka.htm>
- ◆ 4月下旬実施
- ◆ 小6, 中3
- ◆ 国語、算数・数学
- ◆ 120万人(悉皆調査)
- ◆ (77億円)
- ◆ **箱髭図の活用**
- ◆ 「ばらつき」の概念

朝日新聞 2007年10月25日

生活習慣も影響

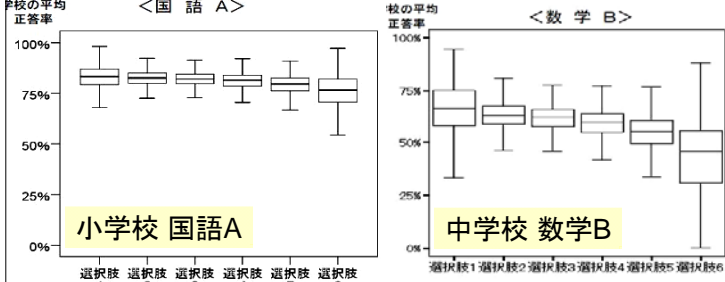
**朝食食べる子、高得点
ゲーム好きは低い傾向**

「朝食を食べる子は、学力が高い傾向がある」という調査結果が、文部科学省が発表した「平成19年度全国学力・学習状況調査」の結果から明らかになった。朝食を食べる子は、国語や算数・数学の得点が高い傾向がある。一方、ゲームが好きという子は、学力が低い傾向があるという結果も出てきた。

調査結果によると、朝食を食べる子は、国語の得点が平均で約10点高い傾向がある。算数・数学の得点も約5点高い傾向がある。一方、ゲームが好きという子は、国語の得点が平均で約5点低い傾向がある。算数・数学の得点も約3点低い傾向があるという結果が出た。

この調査結果は、朝食の摂取と学力の関係を明らかにする上で重要な手がかりとなる。朝食の摂取は、脳の働きを活性化させる効果があると考えられている。一方、ゲームの長時間のプレイは、集中力を削ぐ可能性がある。これらの結果は、学校や家庭で適切な生活習慣を身につけることの重要性を示している。

'07学力調査 (就学援助率)



就学援助率
 選択肢1: 在籍していない
 選択肢2: 5%未満
 選択肢3: 5~10%
 選択肢4: 10~30%
 選択肢5: 30~50%
 選択肢6: 50%~

- ◆ 箱髭図: 集団の「ばらつき」を見るのに有効